

教育委員会事務局 平成23年度局運営方針

1 基本方針

(1) 都市化、核家族化、少子化など教育を取り巻く現状

- ・教員の大幅な世代交代が進む中、児童生徒一人ひとりに基礎学力の確実な定着を図るとともに、より一層質の高い教育を推進していくことが求められています。
- ・子どもたちの規範意識や倫理観の低下による問題行動の増加、人と人とのかかわりの希薄化による人間関係をつくる能力や自己表現力の低下など様々な問題が生じています。
- ・土地区画整理事業などの開発に伴う転入児童生徒の増加による教室不足への対応や障害のある子どもたちが、より身近な地域で学ぶ環境が求められています。また、耐震化が必要な施設や老朽化が進んでいる施設があります。
- ・核家族化など子育て環境の変化により、親の子育てに対する不安が増加傾向にあります。

(2) 子どもの教育の充実・教育環境の整備

- ・自ら学び自ら考え、確かな学力を身に付けた、心身ともに健やかな子どもを育てていく必要があります。
- ・一人ひとりに応じたきめ細かい指導や個別の支援、いじめ問題や不登校などの解消や学校への支援が必要です。
- ・障害のある子どもない子ども地域で学べるよう特別支援学校・学級の整備、過大規模校解消のための新設校が必要です。また、耐震工事や改修工事を早急に進める必要があります。
- ・市民の学習意欲に応えるため各種事業を推進するとともに、公民館、図書館等の社会教育施設の整備充実を進める必要があります。

(3) さいたま市教育総合ビジョンに基づく教育行政の推進

- ・既存事業の再構築を行い、「さいたま市教育総合ビジョン」で示した、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもを育むとともに、生涯学習の更なる充実を図り、「日本一の教育都市」の実現を目指します。

2 主な取組

(1) さいたま市学校教育ビジョンの推進

- ・少人数指導を含めた学習支援の充実を目指し、「少人数指導等支援員」を全小中学校に配置します。また、「学級等支援員」を学校の状況に応じて必要な学校に配置し、きめ細かな指導・支援を行います。
- ・いじめ問題や不登校の解消を図るため、教育相談室の増設など、相談体制の充実を図ります。また、いじめ対策プロジェクトチームにより、いじめ問題解消に向けた取組を推進します。
- ・学校で生じる様々な問題の円滑な解決を支援する「学校支援チーム」を設置し、児童生徒一人ひとりに向き合う環境づくりを推進します。
- ・子どもたちの体力低下に歯止めをかけ、進んで運動に親しむ態度を育むため、「なわとび・逆上がりプロジェクト」や体力アップキャンペーンを推進します。
- ・児童生徒のコミュニケーション力の育成を図るため、本市独自の「小・中一貫潤いの時間」等を推進します。

(2) 地域に根ざした教育の推進

- ・さいたま土曜チャレンジスクールの実施校を拡大します。
- ・多くの人の目で子どもを見守る「学校安全ネットワーク」の充実を図ります。
- ・地域と学校との連携を強化し、スクールサポートネットワークを構築します。また、学校を支援するボランティア体制を整備するため、市民ボランティア支援システムを導入します。

(3) 教育環境の整備

- ・新設特別支援学校(さくら草特別支援学校)の建設や特別支援学級等の整備を進めます。
- ・美園小学校の建設や与野西北小学校、与野西中学校等の増改築を進めます。
- ・学校施設や公民館の耐震化を進めるとともに、老朽化した施設の改修やバリアフリー化を図ります。

(4) 生涯学習活動の推進

- ・国指定史跡及び国指定特別天然記念物等の歴史・自然的資源の保存及び整備に努めるとともに、博学連携の事業の充実を図ります。
- ・親の学習ファシリテーターを養成するとともに、親の学習事業を実施します。
- ・(仮称)武蔵浦和図書館の平成24年度の開館を目指し整備します。

3 行財政改革への取組

- (1) 既存事業の再点検を実施し、実施手法の見直しや改善、類似事業の統廃合、事業の再構築など、主に次のような取組を行い、効果的・効率的で質の高い教育行政を推進します。

教育委員会事務局運営事業について、費用対効果の観点から教育要覧等の印刷部数や印刷方法の見直しを行い経費の削減を図ります。

校庭芝生化事業について、校庭に限らず中庭等を芝生化するなど、実施方法を工夫することにより経費を節減し、学校の緑化推進を図ります。

学校法律問題解決支援事業について、これまで実施してきた法律相談業務を市の法律相談業務に統合し、事務の効率化を図るとともに、学校における様々な問題を解決するために、新たに「学校支援チーム」を設置します。

学校に配置している臨時職員や非常勤職員について必要性や職務内容を見直し、学校のニーズに応じた配置の重点化を図ります。

小学校の給食調理業務について、民間委託により業務の効率化を図ります。

生涯学習総合センター主催事業と市民大学運営事業について、類似した事業を実施していることから整理統合により業務の効率化を図ります。

図書館管理運営事業について、これまで各図書館で行っていた契約事務を整理統合することにより、業務の効率化を図ります。

4 教育委員会事務局予算額

<一般会計>

(単位：千円)

平成23年度当初予算額	平成22年度当初予算額	増減
24,898,622	26,515,117	1,616,495

5 教育委員会事務局主要事業

(単位：千円)

	事業名(予算の事務事業名) 事業の概要	所属	予算額
1	少人数指導等支援員の配置(小学校管理運営事業・中学校管理運営事業)	教職員課	203,255
	小中学校全校に少人数指導等支援員を配置し、児童生徒一人ひとりにきめ細かい指導を行います。		
2	学級等支援員の配置(臨時職員等管理事業)	指導2課	105,788
	身体面や行動面で配慮を要する児童生徒や、いじめ、不登校、非行問題行動など、諸問題にかかわる児童生徒等への指導に支援を必要とする学校に対して、学級等支援員を配置し、学級運営の改善やきめ細やかな教育を充実します。		
3	いじめ対策プロジェクト(生徒指導総合計画事業)	指導2課	104
	いじめ問題の解消に向けて、いじめ対策プロジェクトチームを中心に、関係各課が協力・連携しながら、いじめを許さない学校づくりを推進します。		
4	学校問題解決支援事業(事務局運営事業)	教職員課	480
	学校で発生する様々な問題に対し、学校支援チームを組織し、必要に応じて相談を受けたり、あるいは学校へ派遣し直接指導・助言するなど、学校を支援することにより、学校と保護者や地域の方々との関係をよりよいものとします。		
5	なわとび・逆上がりプロジェクト(学校教育推進事業)	指導1課	1,470
	なわとびや鉄棒(逆上がり)の取組を通じて、児童一人ひとりが、運動への関心や自ら運動する意欲を高め、運動することの楽しさや喜びを味わい、運動を日常生活の中に取り入れられるようにしていくことで、体力向上を目指す運動プロジェクトを行います。		
6	小・中一貫潤いの時間「人間関係プログラム」事業(生徒指導総合計画事業)	指導2課	5,449
	コミュニケーションスキルを体験的に学習する「人間関係プログラム」を推進し、教職員の研修とともに、授業内容の工夫・改善を図り、児童生徒のコミュニケーション能力を育成します。		
7	さいたま土曜チャレンジスクール推進事業(事務局運営事業)	教育総務課	21,000
	地域の協力を得て、児童生徒に学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上や学習習慣の定着を図ります。		
8	市立小・特別支援学校警備業務(学校安全ネットワーク推進事業)	健康教育課	147,551
	防犯ボランティア等による見守り活動をさらに充実させ、多くの人の目で子どもを見守る「学校安全ネットワーク」を拡充します。		
9	スクールサポートネットワーク推進事業(事務局運営事業)	教育総務課	47,068
	学校を支援するボランティアなどの取組をさらに発展させるため、学校地域連携コーディネーターが事務局となり、地域関係団体やボランティアの方々などからなるスクールサポートネットワークを学校ごとに構築します。		
10	特別支援学校新設校建設事業(特別支援学校新設校建設事業)	指導2課	836,788
	緑区三室に肢体に不自由のある児童生徒のための「さくら草特別支援学校」を新設します。平成24年4月の開校に向けて、建設工事を進めるとともに教育に関する内容等を整備します。		
11	美園小学校新設事業(小学校新設校建設事業)	学校施設課	2,222,832
	浦和東部地区のまちづくりに伴う人口増に対応するため、平成24年4月開校予定の美園小学校の建設工事を行います。		
12	小・中学校校舎増改築事業(小学校校舎増改築事業・中学校校舎増改築事業)	学校施設課	1,095,905
	耐震性の確保が必要とされる浦和別所小学校及び与野西中学校の校舎について、改築により耐震化を図ります。また、与野西北小学校の児童数の増加に伴い教室不足が見込まれるため、校舎を増築します。		

	事業名(予算の事務事業名) 事業の概要	所属	予算額
13	小・中・高等学校耐震補強事業(耐震補強事業)	学校施設課	648,182
	耐震性の確保が必要とされる小・中・高等学校校舎等について、補強設計及び補強工事を行います。		
14	(仮称)内野地区公民館整備事業((仮称)内野地区公民館整備事業)	生涯学習総合センター	26,800
	公共施設適正配置方針に基づいて、養護学校東側に予定されている養護学校増築棟の建設計画に併せて公民館を整備します。		
15	尾間木公民館移転事業(公民館移転改築等事業)	生涯学習総合センター	9,406
	内谷・会ノ谷特定土地区画整理事業に伴い、尾間木公民館の移転整備を行います。		
16	領家公民館改築事業(公民館移転改築等事業)	生涯学習総合センター	209,772
	区分所有している建物が老朽化により、耐震化が難しく解体されたため、領家公民館の改築を行います。		
17	国指定特別天然記念物田島ケ原サクラソウ自生地保存管理事業(文化財保護事業)	文化財保護課	14,216
	市の花、県の花にもなっている国指定特別天然記念物「田島ケ原サクラソウ自生地」の所有者として自生地の良好な管理を実施するとともに、普及啓発のために必要な事業を実施します。		
18	国指定史跡真福寺貝塚整備事業(文化財保護事業)	文化財保護課	10,365
	国指定史跡「真福寺貝塚」について、「真福寺貝塚保存管理計画」を踏まえ、文化財としての保護保存と史跡公園としての活用に向けた調査・検討を実施します。		
19	親の学習事業(生涯学習総合センター管理運営事業)	生涯学習総合センター	700
	親自身の学習を支援し、親同士の交流を図る事業として、親の学習講座を担うファシリテーターを養成し、平成22年度に策定した親の学習プログラムを活用したモデル事業を各区1公民館において実施します。		
20	(仮称)武蔵浦和図書館整備事業((仮称)武蔵浦和図書館整備事業)	中央図書館管理課	794,400
	武蔵浦和駅第1街区第一種市街地再開発B1ブロック公益施設棟2・3階に、(仮称)武蔵浦和図書館を整備します。		
21	太陽光発電設備設置事業(各校営繕事業)	学校施設課	6,500
	地球温暖化などの環境に配慮した学校施設整備を推進するため、小・中学校に太陽光発電設備を整備します。		
22	緑のカーテン事業(施設等維持管理事業)	学校施設課	8,000
	校舎の屋上・ベランダからネットを垂らし、ヘチマなどのつる性植物を育てることにより省エネルギーに資するとともに、環境教育のひとつとして小・中学校及び特別支援学校で実施します。		
23	校庭芝生化事業(各校営繕事業・施設等維持管理事業)	学校施設課	33,850
	小、中学校校庭等の芝生化事業を行います。芝生化により運動能力の向上、怪我の減少が見込まれるとともに、環境教育の教材としても利用することができます。また、砂塵の防止や気温上昇の抑制効果も期待できます。		
24	学校給食管理運営事業(学校給食管理運営事業)	健康教育課	2,549,140
	全市立小・中学校に整備を進めている単独校調理場(給食室)について、安全でおいしい学校給食が提供できるよう、施設・設備の維持管理、運営面のサポートなどを適正に行います。		

	事業名(予算の事務事業名) 事業の概要	所属	予算額
25	さいたま市小・中一貫「英会話」推進事業(生徒指導総合計画事業) 本市独自に開発したカリキュラムに基づき、市立小学校5年生から市立中学3年生までの5年間の英会話を通して、英語によるコミュニケーション力の育成を図ります。	指導 1 課	269,055